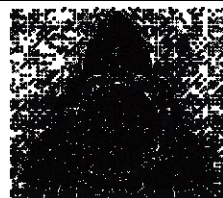


小須戸小学校だより

NO. 5

令和2年11月6日(金) 発行



「『コロナに負けず笑顔で思い出に残る運動会』を目指して」

体育主任 植田一宏

10月25日(日)の運動会では、保護者、地域の皆様からたくさんの温かい拍手やご協力をいただき、ありがとうございました。また、当日のテント立てやます席の準備など、朝早くから多くのPTAの皆様からご協力いただきました。グラウンドのコンディションの悪い中、速やかに準備を終えることができました。大変ありがとうございました。

今年の運動会は、「コロナに負けず笑顔で思い出に残る運動会にしたい！！」という、子どもたちの願いからスタートしました。6年生を中心に子どもたちの提案で競技賞や応援賞をなくし、全校みんなで分担して応援グッズを作り、全校パフォーマンスを踊りました。感染拡大防止のため、全校で練習できたのはたった2回でしたが、子どもたちと教職員とで創り上げた「笑顔で」「思い出に残る」最高の運動会になったと思います。この価値ある経験を大切にしながら、子どもたちと教職員と力を合わせて、今後もよりよい教育活動ができるように取り組んでいきます。

「新たな一步運動会」

赤組団長 竹石心咲

今年は新型コロナウイルスの影響で、去年とは同じことができませんでした。だからこそ、私は小学校生活最後の思い出として赤組団長になりました。空いている時間を利用し、応援団は必死にがんばりました。全校のみんなも何回も練習し、本番に向けてがんばりました。運動会をやってみて、私は一人一人が自分の力をしっかり発揮できていたと思いました。団長としてうれしかったです。全校のみなさん今まで私たちについてきてくれてありがとうございました。

「小学校最後の運動会」

白組団長 野崎絢乃

今年の運動会は、感染症対策の中で行われました。準備をしてくださった方々、地域の皆様、先生方、本当にありがとうございました。おかげで運動会を開催することができました。今年の運動会は、全校のみんなで分担して応援グッズを作ったり、全校パフォーマンスを踊ったりするなど、新しいことにチャレンジしました。昨年までとちがう運動会になりましたが、スローガンのようにみんなが思い出に残るとてもいい運動会になったと思います。

「みんなの思いが詰まった 全校パフォーマンス」

応援担当 山代仁美



「今年は、応援賞をなくして、みんなで一つのことをしたい！」という思いのもと、6年生の応援団を中心に話し合い、今年は全校応援パフォーマンスをすることになりました。去年とは違うことをするので、応援団の子どもたちは、毎日、準備や練習に取り組みました。

4年生は応援グッズを全校に呼びかけました。5年生は、ダンスのクオリティをどんどん上げて、理想のお手本となりました。6年生は団のみんなに積極的にアドバイスをし、やる気を引き出し、運動会を盛り上げる中心となりました。素晴らしい頑張りでした。

本番は、天候が悪く体育館での実施になりましたが、全校みんなの笑顔が溢れ、これまでの思いや努力が伝わってくる、感動的なパフォーマンスでした。ご観覧いただいた皆様も、肌で感じられたことと思います。温かいたくさんの拍手ありがとうございました。